

## 令和6年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	71	学校名	浜松西高等学校	記載者	大野 達雄
------	----	-----	---------	-----	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア	知的好奇心・探究心を大切に、幅広い知識・思考力・表現力等、未来に生きる確かな学力を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「授業の内容がよく分かる」80%以上</li> <li>○「授業は学力を伸ばすことに十分役立っている」80%以上</li> <li>○「家庭学習時間が120分以上」80%以上、「60分未満」0%</li> <li>○「授業→復習の学習サイクルが確立できている」数英各70%以上</li> <li>○「本校の図書館を月1回以上利用している」50%以上</li> <li>○「毎日のように読書をしている」50%以上</li> </ul>	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今のカリキュラムでは、部活動もあり時間的な余裕が無いのは致し方ない。授業に集中できる環境づくりが大事。</li> <li>・部活動に打ち込む生徒も多い。無理に図書館に行かなくても良い。</li> </ul>
イ	地域社会・国際社会のリーダーとして必要なコミュニケーション能力・高い倫理観等の資質・能力を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「興味や関心を喚起される授業が行われている」80%以上</li> <li>○「自分の意見を相手にはっきり伝えることができる」80%以上</li> <li>○「相手の意見をしっかり受け止めることができる」80%以上</li> <li>○「自分から進んで行動できる」80%以上</li> <li>○「学校生活に満足している」80%以上</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どの授業においても対話的に学ぶ場面を設定されており生徒にその姿が明確に表れている。将来、社会のリーダー育成にとって大変有意義。</li> <li>・海外フィールドスタディ事業を継続し、国外に関心を持ち、また国内の良さの再発見にもつなげていただきたい。</li> </ul>
ウ	生命に対する畏敬の念や異なる人々を受け入れる優しさを育てるとともに、防災や安全に関する意識を高める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「自他の生命の大切さについて、主体的に考えている」80%以上</li> <li>○「学校において悩み等を相談する方法や場所を知っている」90%以上</li> <li>○防災マニュアルポケット版の携帯率100%</li> <li>○防災に関する職員研修を実施。</li> <li>○交通マナーに関する苦情0件、交通事故0件</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通事故は引き続きゼロを目指して、ご指導お願いします。</li> <li>・教育相談便りの発行は保護者にとっても効果的であるため、内容に吟味は必要だが、ぜひ家庭も巻き込んでほしい。</li> </ul>

様式第5号

エ	<p>自分の幸福を追求するだけでなく、社会の発展に積極的に貢献しようとする意欲をもつ生徒を育てる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「学校行事以外でボランティア活動をした」70%以上</li> <li>○「フィールドスタディ・プログラムに満足している」80%以上</li> <li>○「大学での学びに興味関心が高まった」80%以上</li> <li>○「探究学習は、課題発見解決能力の向上や、自己の進路選択に役立っている」80%以上</li> <li>○「相手の立場や意見を尊重している」90%以上</li> <li>○「校則等の決まりを守って生活している」90%以上</li> <li>○「規則正しい生活をしている」90%以上</li> <li>○「近所や知り合いの人にあいさつをしている」90%以上</li> </ul>	B	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアに参加する機会が少ない。自治会活動に参加するのも良いのでは。（特に自治会が行う防災訓練等）</li> <li>・「フィールドスタディ・プログラム」は、企画・実践にも時間も手間もかかると思うが、満足度が高く効果が上がり、課題発見、解決能力が育っている。</li> </ul>
オ	<p>目標の実現に粘り強く取り組むたくましい心と体を育成するとともに、生徒の主体的な取組を通して自主・自律の精神を育み、生徒が主役の明るく規律ある学校づくりを進める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「学校行事に積極的に取り組んでいる」80%以上</li> <li>○「学校が楽しい」90%以上</li> <li>○「学校において人間関係は良好である」90%以上</li> <li>○「校内美化（清掃等）に前向きに取り組んでいる」90%以上</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学校生活が楽しい」その声だけで教師冥利に尽きる。</li> <li>・少数の生徒の実態に目を向けようという学校の姿勢は大変素晴らしい。</li> </ul>
カ	<p>系統的・組織的な進路指導を通して、一人一人の夢と志を可能とする進路を実現する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○高2末までにオープンキャンパス参加者80%以上</li> <li>○「大学教授などの外部の方から話を聞くことで進路意識が高まっている」80%以上</li> <li>○「西山台チャレンジサポート」申請者の増加</li> <li>○「学校から進路に関する情報や指導を十分受けている」80%以上</li> <li>○生徒自らが立てる進路目標実現率90%以上</li> <li>○難関国公立大合格者35人</li> <li>○国公立大合格者120人</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オープンキャンパスに関する取組はとてもよかった。目標となる大学は実際に見た方が、受験に対する意欲が高まる。</li> <li>・他校にくらべ、西高は進学に対して本当に面倒見が良いと保護者の間で話題に上がる。</li> </ul>
キ	<p>生徒を鍛え、生徒の自己実現を支援することができる、高い指導力をも</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○評価の方法・課題等について情報共有を行う。</li> <li>○中等部・高校間の授業見学率100%</li> <li>○授業リサーチの実施</li> </ul>	B	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業改善に向けて研修を実践されたことは、特に若い教員にとっては財産になる。異なる教科でも、指導の工夫は参考になるし、自</li> </ul>

様式第5号

	<p>つプロの教師集団を目指す。また、組織を支える教職員一人一人のワークライフ・バランスの保持・向上に努める。</p>	<p>○ICT活用について他校等における事例の情報共有を行うとともに、研修会を通じて、アクティブラーニングの取組が活発化する。 ○人権教育に関する情報提供1回以上 ○外部の教科研修会への参加者10名以上 ○「学校に信頼できる教師がいる」80%以上 ○管理職からの声掛け100% ○月80時間以上の時間外勤務従事者5%以下</p>			<p>分の指導力を振り返る良いチャンスである。 ・熱心な先生ほど時間外在校時間が長くなるので、管理者はメリハリとバランスを心掛けて行き過ぎない様に注意していただきたい。</p>
ク	<p>「魅力ある学校づくり」を進め、中高一貫の特色を生かした信頼される教育体制の充実に努める。</p>	<p>○「シラバスから授業の年間計画が分かる」80%以上 ○中高教員の乗り入れ8人以上 ○生徒支援委員会 年6回以上 ○「3年間または6年間を通した進路指導計画について知っている」80%以上</p>	A	A	<p>・中高一貫教育は私学で広がっています。中等部受験の倍率が下がっていることは、人口減少の影響もありますが、私学の影響も少なくない。激化する競争の中、県立とはいえ、私学に負けない魅力づくりをしていただきたい。 ・生徒支援委員会が定期的実施されていることで問題の早期発見につながっている。</p>
ケ	<p>コンプライアンスの遵守に配慮するとともに、情報の発信を積極的に行い、生徒・保護者・地域の人々から信頼される学校経営に努める。</p>	<p>○「学校の教育活動に信頼感を抱いている」保護者90%以上 ○ホームページの年間更新 100件以上、アクセス数 50,000件以上 ○「学校説明について分かった」参加者 90%以上</p>	A	A	<p>・ホームページによる情報発信は保護者や社会からの理解・協力を得るための大きなツールになる。その反面、何をいつどのように発信するかは配慮は大切になる。</p>
コ	<p>教育目標を達成するため、各目標具現化の柱の遂行に係る適切な財務執行を図る。</p>	<p>○節電等経費削減の周知を徹底し、光熱水費使用量を、令和3年度を基準に削減する。 ○監査、検査等での指摘事項0件</p>	A	A	<p>・財未執行に全く問題ない事は嬉しい限り。 ・学校インフラ整備に必要な予算確保に努めてほしい。</p>